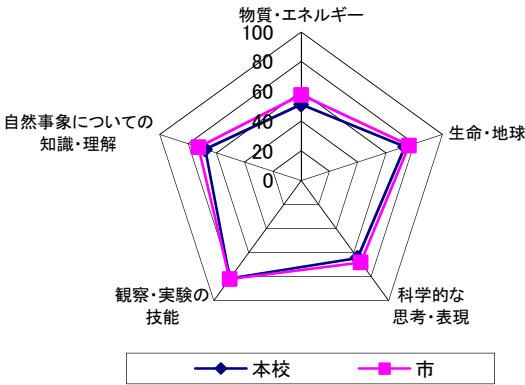


宇都宮市立海道小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	51.1	57.6
	生命・地球	73.5	76.3
観点別	科学的な思考・表現	64.5	68.1
	観察・実験の技能	81.6	82.0
	自然事象についての知識・理解	68.0	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は、市の平均と比べ6.5%低くなっている。水を熱したときの変化についての設問では、3問中2問は、市の平均を上回ったが、残りの1問の、「熱い湯がふき出すのを防ぐために入れるものは何か。」という設問が21.1%だった。	・沸騰石については、4年生で2度実験に出てきたが、使用しても沸騰席という名称を繰り返し押さえたわけではなく、実験に使用する道具のひとつとして扱っただけなので、忘れてしまった児童がいてもしかたがない面もあると考えている。しかし、今後、押さえていなくてはならない知識は、授業の中でもしっかり押さえていく必要がある。
生命・地球	・平均正答率は、市の平均と比べやや低い。しかし、台風についての設問では、市の平均を5ポイント上回っている。その反面、天気予報の根拠を説明する問題では、市の平均を32ポイントも下回っている。	・基礎的な知識について問う設問では、市の平均と比べ、大きな差はないが、理由を説明したり、書いたりする問題では市の平均を大きく下回る。授業の中でも、予想した根拠、結果の分析を考えたり、書いたりする時間をしっかり確保していくことで、力をつけていきたい。